

平成28年度入学試験問題（AO入試）
「課題論文（地域学部地域文化学科）」出題意図

今年度の課題論文では、「個性とはなにか」について考えさせる資料を1点用意した。本資料は、肖像画・自画像等に見られる芸術家の個性を、西洋と日本を比較しながら論じており、国・時代・宗教・思想などが異なれば、個性の現れ方・その評価の仕方が異なること、また個性や自我はどこまで追求しても捉えることが難しいものであることを示唆している。

受験者には、まず著者がどのように個性を捉えているか、次に、著者の捉え方をふまえて個性というものをどこまで深く掘り下げて考えることができるかを求めた。

評価の観点には、①資料の要点を読み解く力、②内容の論理的・一貫性や説得力、③個性という捉えることが非常に難しいものを、著者の意見や受験者の体験等も含めつつ、自分なりにどこまで明確に表現できるか等である。